

スイカ果実汚斑細菌病について

平成13年6月、市場町において新病害スイカ果実汚斑細菌病が発生しました。本病はアメリカの他、平成10年には山形県で大発生して甚大な被害をもたらしたスイカの重要病害です。本県で発見されたスイカは炭そ病に似た病徴(図1, 2)でしたが、典型的な病徴は果実表面に生じる暗緑色から黒色の水浸状の不整形斑点です(図3)。亀裂を伴うこともあり(図4)、さらに症状が進行すると果肉が軟化腐敗します。現在は、種苗業者による種子消毒が改善・徹底されたことや、植物防疫所および各県の病害虫防除所等の関係機関が厳重な侵入警戒を行っているため、全国的に発生は見られていません。本県でも研究課題として取り組み、他のウリ科野菜についても病徴を確認しましたので、紹介致します(図5~12)。子葉には最初、水浸状の小斑点を形成し、拡大して不整形壊死斑となります。防除は健全種子の使用が最も重要で、育苗時の衛生管理、収穫後の残さ等の除去、栽培中の殺菌剤による予防的防除が有効です。



図1 周囲にハロー(黄色の退緑部)を伴う小型の不整形斑



図2 病斑の拡大



図3 水浸状の不整形斑



図4 亀裂を伴った水浸状の不整形斑



図5 スイカ子葉における病斑



図6 スイカ本葉における病斑



図7 ユウガオ子葉における病徴



図8 カボチャ子葉における病徴



図9 キュウリ子葉における病斑



図10 シロウリ子葉における病徴



図11 メロン子葉における病徴



図12 マクワウリ子葉における病徴

- 登録農薬 -

カスミンボルドー水和剤	1000倍	収穫前日まで	5回以内
リドミル銅水和剤	800倍	収穫7日前まで	3回以内
キノドー水和剤40	800倍	収穫10日前まで	5回以内

問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター 農業研究所 病害虫担当

TEL (0883) 24-2217

FAX (0883) 24-2305

<http://www.green.pref.tokushima.jp/nogyo>